

平成22年度 指定管理者施設管理評価シート

部

福祉部

課

高齢福祉課

施設名称	[12] 東京都台東区立橋場老人福祉館
------	---------------------

指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H20. 4. 1 ~ H23. 3. 31
----------	------------------	------	------------------------

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。
(2) 類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・三筋老人福祉館
(3) 経営状況	(21年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入2, 557, 487, 339円, 歳出2, 553, 884, 652円, 収支差額3, 602, 687円

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区橋場 1-36-2
(2) 設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。
(3) 利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体
(4) 開館日・時間	火曜日から日曜日 9時から17時まで
(5) 規模	延べ床面積 289㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち4階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など
(6) 人員体制	4名 内訳…施設管理員(常勤1, 非常勤3)

3. 事業(サービス提供)の概要

(1) 委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、防災訓練 等
(2) 自主事業	各種サロン、地域・世代間交流事業、各種教室 等

4. 予算決算の推移

		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
予算	委託料	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	16,308,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	16,308,000
決算	委託料	33,230,905	25,095,452	23,754,694	21,136,792	16,308,000
	料金収入等	0	0	0	0	1,200,664
	管理経費	33,230,905	25,095,452	23,754,694	19,936,128	14,814,841
	収支	0	0	0	1,200,664	2,693,823

5. 施設の稼働状況等(活動指標)

指標名称	単位	18年度	19年度	20年度	21年度
開館日数	日	295	295	291	294
健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	17	74	97	105
ことぶき教室実施回数	回	81	79	90	100

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値(23年度)	19年度	20年度	21年度
利用者数	人	28,200	35,560	26,898	20,022
健康づくり(介護予防)事業 ことぶき教室参加者数	人	4,000	3,298	4,132	4,225

7. 前年度からの取組			
NPOと連携した携帯電話講座を実施し、高齢者の情報機器への理解を深めてもらい、活用能力を向上させることを目指している。			
8. 評価項目		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。
評価の観点	評価項目		
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応マニュアル (j) 警備・防犯体制
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[2] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。	
評価の視点	評価	説明	
(1) 事業の運営	A	ボランティアの育成や魅力ある自主事業を実施することで、地域の高齢者に教養、レクリエーション等の場を提供するという役割を十分に果たしている。	
(2) 施設の維持管理	A	保守点検及び清掃管理等を適切に実施しており、大きな営繕工事も発生しなかった。	
(3) 利用者の満足度	A	20年度の今戸老人福祉館からの機能移転により、入浴施設がなくなったことから、利用者数が減少しているが、橋場移転後の月平均利用者数は15%増加している。またアンケートによると利用者の満足度は全般的に高い。	
(4) 歳入歳出	A	経費削減に努めた結果として、管理経費は削減されている。	
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適	
	妥当	20年度の今戸老人福祉館からの機能移転により、入浴設備が無くなったため、利用者数が減少しているが、ボランティアの育成や魅力ある自主事業の実施により、地域に密着した事業展開が図られている。	
11. 評価結果への対応			
運営に関して特に大きな問題はなく、利用者からの満足度も高い。20年度中の今戸老人福祉館からの機能移転により入浴設備がなくなったことで、利用者数は減少したが、それ以外の個人利用者の数は次第に増加している。今後は地域と密着した事業を展開し、地域の高齢者福祉の拠点となっていく必要がある。			